

喜多川 高四拾俵式人扶持
藤原姓 家紋寄九曜 藤巴下藤

田原五郎千常後胤尾藤太景
氏十六代孫藤左衛門秀直長男

種春

藤左衛門

始浪人二而 罷在天正十年月日三州二而

東照宮へ召出され六石式人口賜御臺

所方○慶長六年月日不知

台徳院殿へ被為附○其後

天樹院殿御七歳 御附大坂 御供○

其後播州へ供奉○寛永十五年

十月十六日死赤坂専福寺へ葬

楚義タカ

久左衛門

彦作

寛永六年月日不知

天樹院殿附御臺所人○同十五

年月日不知 家督○正保三年月日不知 櫻田

御殿御膳所御臺所人加秩式石○其

後加秩有而拾式石五斗式人口○

寛文二年十一月七日死同寺へ葬

某

素閑

慶安三年月日不知 幼少二而

天樹院殿御薬坊主へ召出され無足

二而相勤○寛文二年父死名召二而 跡

目之儀は次男藤右衛門へ被下父取来

御切米素閑江 被下当時御本丸御奥

坊主喜多川素閑之祖

義休

藤右衛門

寛文二年月日不知 名召を以父家督被下

新規御切米式拾俵式人口櫻田御殿

御臺所人○延宝四年九月日不知 致

仕○貞享三年八月五日死同寺

義次

彦左衛門

傳右衛門

傳之助

実三州浪人 鈴木平左衛門重員次男

延宝四年月日不知 養子○同年月日不知 家

督櫻田御殿御臺所人○宝永元年

十二月日不知 西丸御供奥御膳所御臺所人

享保六年三月廿八日八拾三歳

同寺へ葬

以下略